

第6回 奈良交通路線バス(北田原線)利用促進に向けた三者協議概要

日 時 令和7年6月24日(火) 午後7時00分～午後8時30分

場 所 南田原町集会所

参加者 北田原町3名、南田原町11名、星和台4名

事業者：奈良交通株式会社2名

行 政：生駒市(防犯交通対策課)2名

コンサルタント：システム科学研究所3名、ティデザイン1名

話 題 (1)昨年度の振り返り、おでかけマップの活用状況の共有

(2)グループワーク

(3)次回に向けて

概要

(1) 昨年度の振り返り、おでかけマップの活用状況の共有について

- ・行政から、資料「本日のグループワークのプログラム」のとおり、昨年度の振り返り、今年度のスケジュール、昨年度の三者協議で作成したおでかけマップの活用・広報の取組状況に関して、説明があった。

(2) グループワーク

- ・自治会ごとに3グループに分けて、各グループで「今年度の取組内容」についてグループワークを行った。具体的には、おでかけマップの活用方法(地域のイベントとの連携、新たな取組み)、おでかけマップ活用以外の利用促進策などについて話し合った。

- ・北田原町のグループでは、次のような提案内容が出てきた。

①地域の魅力の再発見・活用

- 沿線地域にたくさんある史跡や城跡をめぐるコースやツアーを考える。
- おでかけマップにまだ掲載されていない自然がきれいな場所(桜、梅、桃の花)の情報を整理して、自然を巡るコースやツアーを考える。
- 自然や史跡など、地域住民もまだ知らない魅力があるので、再調査・再整理する。

②体験参加イベントの開催

- 竹を利用した工芸品を作るイベントを開催して、地域外からバスに乗って来てもらう。
- 農業体験(例：小学生の田植え体験)を開催して、地域外からバスに乗って来てもらう。

③地域のイベントの活用

- 老人会のおでかけで、おでかけマップを活用する。マップ掲載のルートの出発地までバスで移動して、ルートを散歩する。
- 自治会の防災イベントで、地域外に出かける際に、皆でバスに乗って移動する。
- 地域の夏祭りや秋祭りに、地域外からバスに乗って来てもらう。

④別バージョンのマップ作成

→高山地区と連携したおでかけマップや、春バージョンのおでかけマップを作成する。

⑤バスを利用したくなる工夫

→バスで沿線地域を訪れておでかけマップを活用した方は、マップ内にシールを貼ったり、スタンプを押せたりできるようにする。

→バスで沿線地域を訪れた方に対して特典を用意する。

→【奈良交通】周辺の観光スポット等に関する車内アナウンスを、バス停毎に流してほしい。

→【生駒市】おでかけマップのルートの案内や道標を用意してほしい。

・南田原町のグループでは、次のような提案内容が出てきた。

①おでかけマップのバージョンアップ

→各コースにおいて、幹線道路部分は分かりやすいが、曲がり角などの場所は来訪者には分かりにくい。目印が必要ではないか。矢印案内など地域の方のDIYで、対応できると良い。

→分かりにくい写真は次回に向けて差し替えてはどうか。

P8③南田原町のまちなみ：もう少し良い写真に差し替えられないか。

P10③長楽寺：P8⑤のように、もう少しアップの写真に差し替えてはどうか。

P10①岩蔵寺と P12①寺前の森さん：同じ写真である。森の方が、岸壁側を撮影するなど差し替えてはどうか。

P14⑤稲葉谷の石仏の左側写真：上の石仏が切れている。縦長の写真として石仏が見えるように撮影した写真に差し替えてはどうか。

→写真だけでは魅力が伝わりにくいため、行きたくなるよう、バスに乗りたくなるように、動画もQRコードで掲載してはどうか。

②おでかけマップの活用

→おでかけマップの活用についても、ターゲットを明確化する必要がある。

→自治会では、南田原の歩こう会で活用できないか。例えば、南田原から北田原までバスに乗り、北田原コースを歩くことが考えられる。

→【生駒市・奈良交通】来訪者については、北田原コースをPR強化していけばどうか。磐船神社や府民の森ほしだ園地は有名であり、訴求できる。また、生駒駅から北田原バス停まで全線乗車してもらえるため、効果も高い。生駒と大阪との連携を図ってはどうか。については、奈良交通から京阪バスへ、生駒市から四条畷市や大阪府へコンタクトを取って、PRを連携してもらえないか。

→バスを利用した方には、車内でハンコを押してもらい店舗などで特典を受けられると、活用してもらえるのではないかと。市からサポート頂けるとありがたい。

③その他

→【奈良交通】100円DAYの時は、バスの乗務員にも車内での案内強化をお願いしたい。

→マイカー運転できる方は、バス利用が飲酒時に限られる。

→【生駒市】生駒駅周辺へは、通勤通学時だけでもマイカー乗り入れ禁止とするなど、全市的に取り組んでいく必要があるのではないかと。

→バスが無くなると困る方はいるのか。今後、本当に地域の交通をどうしていくのか。根本に帰って議論を継続していく必要がある。

・星和台のグループでは、次のような提案内容が出てきた。

①情報

→作成したおでかけマップを補強・ブラッシュアップするためのデータ収集（新しい情報や写真）を行う。
→おでかけマップを掲載している HP の情報を追加・更新する。
→春・夏におすすめしたい情報（棚田の写真、野鳥）や南田原城址など。

②企画

→歩こう会：今年度の歩こう会でバスを使ったコースを検討中。
→フォトロゲイニング：全 7 コースを制覇した方に商品を贈呈する。スポットの写真だけでなく、乗車するバスの写真も撮影してもらう。
→クイズづくり：バス停名・地名の読み方など、バスに関心を持てるようなクイズづくり。「情報」で収集した内容も追加。
→【生駒市】企画の景品として奈良交通の四神カードを提供いただきたい。

③マップ

→いこま寿大学のハイキングや歩こう会で活用するために、地元の方にもおでかけマップを配布したい。
→【生駒市】おでかけマップをどれくらいもらえるか検討してほしい。

④連携

→北田原の「おにうし」に、おでかけマップとコラボしたようなオリジナル料理を考えてもらう。マップを持参したらプラス 1 品、昼食つきバスツアーなども。
→【生駒市】市内連携：いちご畑が多いので、いちごを活用したカフェやいちご狩り体験などのスポットを増やしたい。農林課と連携してほしい。

⑤その他

→8 月 31 日（日）に開催する IKOMA サマーセミナー2025 で本町地区でのおでかけマップを作成する講座を開く。北田原線のおでかけマップを使って他地区の人に来てもらうだけでなく、北田原線沿線住民がバスを使って遊びに行く両方向で利用を増やせれば。ぜひ参加いただきたい。
→【奈良交通】自治会で活用・配布するための自治会版 CI-CA を検討してほしい。オリジナルデザイン。

(3) 次回に向けて

・今年度に何に取り組むか、自治会ごとに話し合った。

→北田原町のグループでは、「地域の魅力の再発見・活用」に取り組むたい。次回の三者協議に向けて、沿線地域にある魅力的なスポット（自然や歴史等）に関する情報の収集・整理を進める。

→南田原町のグループでは、次回のおでかけマップに活用できる写真や動画の撮影に取り組むこととした。また、自治会での集まりなどがあれば、バスについて考えていただく、議論していただくこととした。

- 星和台のグループでは、「おでかけマップの補強・更新に向けたデータ収集」に取り組みたい。次回の三者協議に向けて、おでかけマップを使ってコースを歩きながら、写真撮影や新しい情報の収集を進める。クイズ企画にも活用できればよい。
- ・グループワークの結果発表を受けて、行政から、以下について共有した。
 - おでかけマップについて、問合せいただければお渡しすることはできる。また、今回いくつか持参したので、必要な人は持って帰っていただいて問題ない。
 - 歩こう会など、地域で企画していることや取り組んだことがあれば、協議会で報告したいので、生駒市に共有していただきたい。
 - 四神カードは市役所に余っているものがあるので、景品等で活用することは可能。三者協議での取組以外でも、こういう活用をしたいといったことがあれば相談していただきたい。
- ・グループワークの結果発表を受けて、事業者から、以下について共有した。
 - 北田原線沿線に限ったことではないが、バス停を降りてからどのように目的地に行けばよいかという問合せが多い。また、インバウンド需要も高まっている。おでかけマップの更新時には、そういった分かりやすい案内の観点も入れていただければ。

以上